

一級河川 休泊川
(上流・下流工区) 河川改修事業

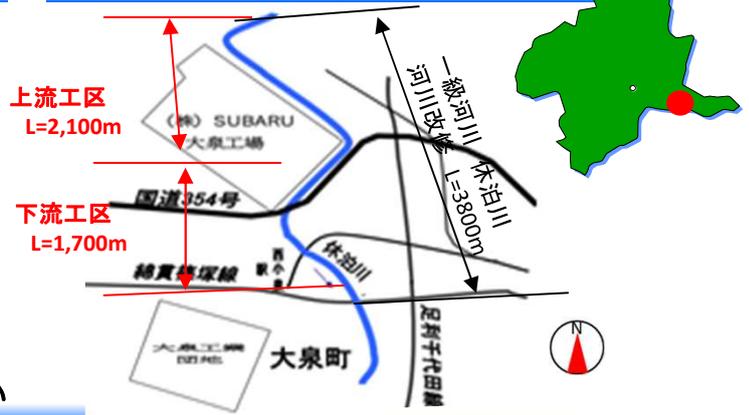
政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

施策2：重点水害アクション(5か年重点レジリエンス対策)

事業概要

- 所在地：邑楽郡大泉町西小泉～太田市内ヶ島町
- 河川名：一級河川 休泊川
- 事業内容：河川改修(河川拡幅)延長 3,800m
下流工区 L=1,700m 上流工区 L=2,100m
- 全体事業費：64億円
- 事業期間：下流工区：平成4年度～令和6年度
上流工区：平成4年度～令和11年度
- 計画規模：概ね30年に1回程度発生すると予想される洪水による氾濫を防止することを目標
- 現況流下能力：27m³/s
- 計画流下能力：34m³/s(暫定)
70m³/s(完成)

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・社会経済の壊滅的な被害を回避するため

川幅を拡げて流せる水の量を増やします

地元
の
声

- ・鉄橋部分が狭く上流の水位がすぐに上がるので不安。(発言者：地元住民)
- ・台風の時などに川が溢れ無いか心配だ。(発言者：地元住民)

成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積の減少	435 ha
想定氾濫区域内の浸水戸数の減少	4,725 戸



実施後
0 ha
0 戸

実施前

◆大雨の時は河川の水位が上昇し、浸水被害が発生するおそれがあります。



実施後

◆川幅を拡げ、流せる水の量を増やすことで、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。



事業の進捗状況 (R3年3月現在)



事業のすすみ具合

事業開始 ●

今、何をしているか

令和3年度は河道拡幅のため、常光寺堰の詳細設計を行います。



現在の状況 (令和3年1月)

● 事業完了